



3年生の就職試験が始まり、多くの就職希望者が内定をいただいています。

インターンシップで未来を想像！

2年生の就職希望者にとっては採用試験までに1年を切り、卒業後の生き方を決める大切な時期になりました。先月は研修旅行で県外の企業を見学。そして来週は近隣の企業でインターンシップを体験します。自分が就きたい職種や勤めたい企業が具体的にある生徒には、インターンシップは自分のイメージが合っているのかを確かめる良い機会です。まだ具体的な進路イメージができていない生徒には、体験先での経験が未来を考えるきっかけになります。

日本の企業の平均寿命はおよそ30年と言われていましたが、どんどん短くなり今では23.3年という報告が東京商工リサーチから発表されました。単純に考えると就職してから定年退職するまでに誰もが1回は転職することになります。転職を想定するならば、自分自身でスキルアップしていくことを考えておく必要があります。

インターンシップ先では、仕事内容や企業の一日の流れを知ることも大切ですが、従業員の皆さんがどのようにスキルアップに取り組まれているのかを伺ってみましょう。就職した時の能力だけで定年退職まで働き続けることは難しいことです。社会人のみなさんは新しい技術や環境にどのように対応されているのでしょうか。また、どのような気持ちで仕事に取り組んでいらっしゃるのか、仕事に対する思いも尋ねてみましょう。

次は連続テレビ小説ブギウギ第8話の中でトップスターと踊り子をめざすヒロインとの会話です。

トップスター：「あなた、どうして踊るの？」

ヒロイン：「踊りたいから」

トップスター：「その先をこれからは考えて生きなさい。」



さらに、技術を身につけることに対してトップスターは「バレエはひたすら反復」と説きます。最後にヒロインへ「あなたたちも自分のいるところを愛して」とメッセージを送ります。

インターンシップでお世話になる方々はその道のプロです。プロの言葉にしっかり耳を傾けてみましょう。そして、インターンシップの体験を活かして、あなたの愛する居場所とあなたの未来を想像してください。

校長 松川 明義



【行事予定】18日(水)：午前中授業（午後は職員研修会）

21日(土)：中学生対象学校見学会

22日(日)：2級土木施工管理技術検定

週末の大会 バドミントン部、陸上競技部、ボート部



米工 HP